

令和7年度 八代市介護保険事業計画等策定・評価審議会 議事録

1 日 時 令和8年2月3日（火）14：00～14：55

2 場 所 八代市役所 本庁舎3階 302会議室

3 出席者

(1) 委員13名（役職・50音順）

西	文明	会長	上野	眞由美	副会長			
鶴田	善久	委員	徳田	武治	委員	西田	充征	委員
橋本	剛	委員	藤井	美香	委員	松本	博昭	委員
溝口	直子	委員	峯	貴明	委員	村本	恵子	委員
村本	昇	委員	吉岡	小夜子	委員			

(2) 事務局

健康福祉部	部長	辻田	美樹		
健康福祉部	次長	高崎	博文		
〃	次長	森田	克彦		
高齢者支援課	課長	上野	信		
〃	課長補佐	木村	士朗		
〃	高齢者福祉係長	山本	敏博		
〃	介護予防係長	原田	亮一		
〃	八代地域在宅医療・介護連携支援センター所長	稲崎	敬文		
介護保険課	課長	山村	悟		
〃	審査認定係長	徳田	優子		
〃	介護給付係長	山下	寛子		
〃	事業所指導係長	角田	知嘉子		
〃	保険料係長	山本	勝己		

4 議事（一般公開：傍聴者無し）

○八代市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の進捗等について
事務局説明（配付資料の説明）

質疑応答等

（委員）

現在進行形であるが、高齢者虐待について、施設内の虐待で痣ができていた。警察にも相談し、捜査中の事案。

地域包括支援センターのほうの業務になると思うが、市のほうでは、施設内の虐待の数などについて、どの程度把握しているか教えていただきたい。

市に報告があっていない件数が結構あるのではないか。

(事務局)

今ありました事案については、市のほうにも施設から連絡があっており、内容について把握している。その後、警察の捜査中というところまでは聞いていた。

市として虐待として認定した件数としては、令和4年度が4件、令和5年度が12件、令和6年度が7件となっている。

これとは別に、家庭内における養護者からの虐待については、令和4年度が27件、令和5年度が40件、令和6年度が34件となっている。

(委員)

今のは報告あっている数であり、あがってきていないもの、水面下ではもっとあると思う。調べればもっと出てくる。

一つには介護者の資質の問題、教育の問題だと思う。2面性を持っている方が介護をしているのではないかと思う場面に出くわすこともある。教育し直す必要がある。

そういったところは、どのように考えているか。

(事務局)

資格について、市から申し上げにくいところ。市の対策としては、市独自の高齢者の虐待防止、早期発見マニュアルなどを策定し、それぞれのケースで対応している。

虐待を見つけた場合には、相談窓口が地域包括支援センターや市のほうになっており、すぐに連絡してもらおうよう様々なところで呼びかけている。

具体的には、市の広報紙やホームページにおいて虐待の事例の紹介のほか、出前講座などにおいて、周知を図っているところ。

(委員)

時には腹立たしいケースもある。気難しい人の対応もある。

それでも手を出してはいけない。そういったモラルの徹底が必要である。

(委員)

介護職を希望する人は多いのでしょうか。少なければ、質を考える前に雇用することが先になるのではないか。

(委員)

介護職としては不足しているので、たくさん希望してもらいたいというのが実情だと思う。

看護師も同様と思う。

(委員)

質の低下が暴力を招いているのではないか。

(委員)

報道として、腹いせで暴力をふるったというものがある。事件として出てこないのが大多数だと思う。施設内のことであれば、施設としても公表しないこともあると思う。

市のほうでは、把握のほうを是非お願いします。

(委員)

認知症についてお尋ねするが、疾患センターや大学のほうでも問題が出てきている。今、認知が進んでいる人を受け持っている。夜間に物を壊す・徘徊する。入院できないから、身動きが取れない。セデーションかけても難しい。各部署で起こってきているのではないか。結局、マンパワー不足。病院もマンパワーが足りない、看護師不足している。

介護保険の中では、認知症が別立てとなっている。どういう施策になっているのか示していただきたい。どこでどう停滞しているのか。介護保険の計画において、しっかり問題点を挙げ、解決策を挙げていかなければならない。

(委員)

現在、認知症に対する体系自体が崩壊している。ただ、そういうことばかり言うてはいられない。

(事務局)

事務局としても何かが起こってから把握しているところ。その後、専門の医療機関を勧め、まずは診断を受け、介護認定を申請し、それから色々なサービスを受けていただく。

先ほどのケースだともっと重度な方と思う。ご家族が対応に苦慮している場合は、その日に預かっていただく施設や入所できる施設を可能な限り探すということが市で行っている対応となる。

(委員)

認知症対応型の施設は、足りているのか。老人ホームに入所している方も多様な気がする。

(事務局)

認知症対応型の、グループホームについて、現在の計画上、多く整備することにはなっていない。公募したところだが、応募はなかった。

(委員)

施設を増やしても働き手がいない。淘汰が進んでいくと思う。

八代では個別にし過ぎていると思う。分散せず、多床室などを計画的に進めておいたほうがよかったと反省している。

生産年齢人口が減少していく中で、どのように対応していくかをきちんと見つめなおし、これから先足りないものをどのようにするか。集約化する等、しっかり目標に入れていかないといけないと思う。

(委員)

なかなか難しい問題。単に施設を増やせばいいということでもない。

○来年度の予定等について
事務局説明（配付資料の説明）

※質疑については、特段なし。

5 その他（事務局）

来年度も、先ほど説明した日程等で予定している。4月以降に依頼などを送るので、よろしく願います。